

令和2年度 日本学校農業クラブ北海道連盟

第72回全道実績発表大会開催要項

スローガン『永久に残る思い出を 今こそ創る至高の農ク 新たな歴史に一歩を踏み出せ』

1 目的

プロジェクト活動発表は、日ごろのプロジェクト学習の成果を発表し、クラブ員の科学性を高めるとともに、専門的な能力や態度を高めることを目的とする。

また、クラブ活動発表は、単位学校農業クラブ活動を積極的に推進するため、問題解決のための自主的・積極的な態度と能力を養うとともに、クラブ員相互の親睦と連携を深めることを目的とする。

なお、本大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためクラブ員の参加を伴わない形で実施し、事前に各単位クラブで撮影した発表動画・活動記録簿を審査する大会とする。

2 期 日

2021年1月28日(木)～2021年1月29日(金)

3 会 場

酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校

〒069-8533 江別市文京台緑町569番地 TEL 011-386-3111 FAX 011-386-1243

4 主 催

日本学校農業クラブ北海道連盟

5 後 援

北海道教育委員会 北海道農業協同組合中央会 公益財団法人栗林育英学術財団

北海道学校農業クラブOB会 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校農業クラブOB会

酪農学園大学

6 当番校

酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校

7 参加資格

令和2年度日本学校農業クラブ北海道連盟規定による登録クラブ員

8 審査員

<外部審査員> 4名

北海道教育庁学校教育局高校教育課キャリア教育指導係	指導主事	峯田雅大様
酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類	教授	廣瀬之彦様
酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類	教授	志賀聡様
酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類	准教授	飛谷淳一様

<内部審査員> 10名

【北北海道連盟】

北海道 剣淵高等学校	校長	芳賀 雄太 様
北海道 幌加内高等学校	校長	山城 誠 様
北海道 遠別農業高等学校	教諭	石川 ウーリーエル 様

【東北海道連盟】

北海道 美幌高等学校	校長	伊與部 明 様
北海道 士幌高等学校	校長	赤穂 悦生 様
北海道 別海高等学校	教諭	平岡 賢一 様

【南北海道連盟】

北海道 留寿都高等学校	校長	齋藤 譲一 様
北海道 真狩高等学校	校長	西村 博幸 様
北海道 ニセコ高等学校	教諭	佐々木 和恵 様
北海道 余市紅志高等学校	教諭	大野 悟 様

9 大会日程

期日	日程	時間	会場・場所
1月28日(木)	受付	8:30～9:00	東棟1階 入口
	審査員会議	9:00～9:30	1年2組教室
	資料審査	9:30～12:00	1年1組教室 2年1組教室
	昼食	12:00～13:00	1年2組教室
	発表審査 分野：Ⅰ類 分野：Ⅱ類	13:00～16:00	1年1組教室 2年1組教室
	審査員会議	16:00～17:00	1年2組教室
1月29日(金)	受付	8:30～9:00	東棟1階 入口
	発表審査 クラブ活動発表 分野：Ⅲ類	9:00～12:00	1年1組教室 2年1組教室
	昼食	12:00～13:00	1年2組教室
	審査員会議	13:00～14:00	1年2組教室

10 大会参加申込について

(1) 申込方法

参加申込書(別紙様式1、様式2)および諸納金一覧表(別紙様式3)に必要事項を記入し、大会事務局まで送付してください。

併せて次のメールアドレスに参加申込書および諸納金一覧表を送信してください。

申込データは、当番校ホームページからのダウンロードも可能です。

当番校HPアドレス	https://www.san-ai.ed.jp/
-----------	---

申込メールアドレス	n-matsuura@san-ai.ed.jp
-----------	-------------------------

メールでの提出期限	2021年1月20日(水) 17:00 締切
-----------	------------------------

郵送での提出期限	2021年1月20日(水) 消印有効
----------	--------------------

(2) 負担金および参加料

ア 学校負担金 1 単位クラブ 3,000 円

イ 発表負担金 1 発表につき 2,000 円

※ 期限までに振込をお願いします。(4)をご参照ください。(振込手数料は各校にて負担願います。)

(3) 審査員の宿泊斡旋について

宿泊斡旋は行いません。

(4) 振込先

金融機関 北海道信用金庫 大麻支店

店 番 号 064

種 別 普通

口座番号 4 2 6 9 5 5 8

口 座 名 もりさんあいこうとうがっこう じむしつ こうちょう にしだ たけお
とわの森三愛高等学校 事務室 校長 西田 丈夫

振込期限：2021年1月21日(木)

11 その他

(1) 前年度優勝校は、本大会結果発表後、優勝カップを速やかに北海道連盟事務局宛に着払いでお送りください。

(2) 大会結果については、2日目終了後、当番校ホームページにて速報を掲載します。

(3) 地域大会で入賞し、本大会へ出場する発表は、**地域大会当番校**より次の必要物品が本大会事務局に送付されます。**(発表校は、負担金・参加料の振込と参加申込書・諸納金一覧表の提出のみとなります。)**

- エントリーシート(紙媒体およびPDFデータ)
- 活動記録簿
- 発表原稿(紙媒体およびPDFデータ)
- 動画(USB 1本)

(4) 発表順位抽選は、当番校職員にて予備抽選および本抽選を大会期日前に実施させていただきます。なお、発表順位は1月26日(火)16:00に実施し、速やかに当番校HPにて公表します。

(5) 大会当日いかなる場合であっても、審査員、北海道連盟事務局員以外の本校への入校はできませんのでご容赦ください。

(6) 大会に関する問い合わせは、大会事務局にお問い合わせください。

12 新型コロナ感染防止対策(対象は審査員を含む大会当日入校者)

次のとおり新型コロナウイルス感染防止対策にご協力ください。

(1) 本校に入校される場合は、検温・手指消毒・マスクの着用を遵守してください。

(2) 入校許可証(首掛け式)の携行をお願いします。

(3) 次の症状がある場合、または、症状が回復して2日を経過していない場合は入校できません。

ア 風邪症状、臭覚、味覚異常、息苦しさ、強いだるさ等の症状がある場合

イ 37℃以上の発熱がある場合

ウ 普段の体調と違う症状を感じている場合

13 大会事務局

酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 全道実績発表大会事務局

(担当：副校長 清澤 城次 教諭 松浦 直哉)

〒 069-8533 江別市文京台緑町 569 番地 TEL 011-386-3111 FAX 011-386-1243

メールアドレス n-matsuura@san-ai.ed.jp

全道大会道連基準(令和2年度実績発表大会)

この「全道大会実施基準」は、日本学校農業クラブ北海道連盟運営細則3の大会等に関する細則のうち、全道実績発表大会・全道意見発表大会により実施・運営について定めたもので「全道大会実施要項」はこの基準に基づいて作成される。

この基準については、令和2年度大会が新型コロナウイルス感染症防止のため、通常開催ができなくなり、事前に単位クラブで撮影した発表動画を提出し審査する大会形式に変更したために特例として新たに作成したものである。この基準は北北海道大会・南北海道大会・東北海道大会でも適用し、運営することとする。なお、次年度以降の開催方法については、国内、道内の感染状況などを踏まえ判断する。

1 プロジェクト発表

プロジェクト発表は、日頃のプロジェクト活動の成果を発表し、クラブ員の三大目標を高めるとともに、専門的な能力や態度を高めることを目的とする。

(1) 発表分野と内容

次の全国基準によるが、地域大会の内容を変更してはならない。

分 野	内 容
I 類 生産・流通・経営	1 農業生物の育成や生産性向上に関すること 2 農業生産物の流通や消費に関すること 3 農業の経営や経済活動に関すること
II 類 開発・保全・創造	1 生産物の加工技術や商品に関すること 2 国土や地球環境の流通や消費に関すること
III 類 ヒューマンサービス	1 動植物や地域資源の活用に関すること 2 地域や食文化や伝統文化の継承に関すること

<発表分野と内容の補足説明>

1 発表内容について

発表内容は、農業クラブ員が日ごろの農業関係科目の学習をとおして学んでいるもの、およびそれらを発展・応用したもの、さらにホームプロジェクトで行っている農業学習に関連したものとする。

2 発表分野について

ア どの分野にするかは発表する内容によって判断し、エントリーシートにI類からIII類を選択した理由や必要事項を記入する。研究内容がどの分野になるのか②を確認すること。

イ 発表分野と具体的な内容

分野	内 容	具体的な研究内容(例)
I 類 生産 流通 経営	1 農業生物の育成や生産性向上に関すること 2 農業生産物の流通や消費に関すること 3 農業の経営や経済活動に関すること	・栽培・飼育に関する研究 ・肥料や薬剤に関する研究 ・農業生産物の流通や保全、管理に関する研究 ・農業経済・経営に関する研究
II 類 開発 保全 創造	1 生産物の加工技術や商品に関すること 2 国土や地球環境の保全・創造に関すること	・農業生産物の加工に関する研究 ・食品の栄養に関する研究 ・農業土木や造園、林業の事業の計画 ・実施・管理に関する研究 ・生物多様性の保全に関する研究

Ⅲ類 ヒューマン サービス	1 動植物や地域資源の活用に関する こと 2 地域の食文化や伝統文化の継承 に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・農村環境や社会動物等の農業資源の活用と交流活動に関する研究 ・地域農業や地域社会に根ざした事業の振興に関する研究 ・農山村の歴史的行事・郷土芸能 ・伝統食・食文化、食育などに関する研究 ・市民農園・観光農園・農家レストランなどに関する研究
---------------------	---	---

(2) 動画撮影方法

- ① 次の(3)発表方法、(4)発表および準備時間、(5)発表者および発表補助者の要項に従い、動画を撮影すること。
- ② 撮影については発表準備が完了してから、『気をつけ。礼』より撮影を開始し、その後発表を終え、『気をつけ。礼』までの一連の流れを定点で継続して撮影すること。
- ③ 動画に新たな音声を入れるなどの編集はしないこと。
- ④ 詳しい撮影方法は別紙「令和2年度実績発表大会(地域・全道)動画マニュアルを参照のこと。

(3) 発表方法

- ① 発表は視聴覚機器を使用した演台からの口頭発表とする。必要に応じ標本・模型などを使用した演示をしても良い。また、視聴覚機器、標本、模型には音声・動画が挿入されていても良い。ただし、音声・動画は補助としてのみ利用すべきである。発表はオリジナルなものを提供することが望ましい。
- ② 撮影に準備する視聴覚機器類およびUSBについては、各単位クラブで準備を行うこと。
- ③ 発表終了後の質疑応答は行わない。

(4) 発表および準備時間

- ① 発表時間は10分以内として超過2分で発表打ち切りとする。
- ② 時間標示は8分(1鈴)、10分(2鈴)、12分(乱鈴)とする。
- ③ 計時および時間標示については撮影時にわかるようにすること。
- ④ 発表準備のための時間は特に設けなくて良い。

(5) 発表者および発表補助者

- ① 発表者は発表分野ごとに、地域連盟で審査の結果、最優秀または優秀に選ばれた者(またはグループ)とする。
- ② 発表者および発表補助者数は合わせて10名以内とする。
- ③ 発表者はいずれの発表分野についても男女・学科を問わない。
- ④ 発表者は口頭発表を行う者とし、3名以内とする。発表補助者は視聴覚器具の操作、標本・模型の演示など、発表の補助を行う者とする。
- ⑤ 各発表とも、補助者は必ず自校にて準備すること。
- ⑥ 全道大会の発表者数は次の通りとする。

発表分野	北連盟	南連盟	東連盟	合計
分野Ⅰ類 生産・流通・経営	4	5	5	14
分野Ⅱ類 開発・保全・創造	4	5	5	14
分野Ⅲ類 ヒューマンサービス	4	5	5	14
合計	12	15	15	42

(6) 審査および審査委員会

- ① 審査は発表分野ごとにプレისナンバー方式で行い、最優秀、優秀を選出する。
- ② 審査員は、校長・教頭・指導教師・学校農業クラブに理解の深い学識経験者などから選出する。
その構成は、道連運営細則3により次のとおりとする。
- ③ 審査委員会の構成は日本学校農業クラブ北海道連盟が、北海道高等学校長協会農業部会、各地域連盟、当番校と協議のうえ原案を作成し、代議員会で決定する。
- ④ 審査委員会は発表に対する指導講評を行う。
- ⑤ 審査プレისナンバーの公開については、審査長の確認を受けて、全発表分について行い、指導の一助とする。

(7) 表彰および全国大会推薦

- ① 入賞者に対して表彰を行う。入賞数を次のとおりとする。

発表分野	最優秀	優秀	合計
分野Ⅰ類 生産・流通・経営	1	5	6
分野Ⅱ類 開発・保全・創造	1	5	6
分野Ⅲ類 ヒューマンサービス	1	5	6
合計	3	15	18

- ② 全国大会への出場のあり方については、最優秀の学校が翌年度の全国大会出場を推薦を優先して受けることができる。ただし、次の条件が満たされない時は推薦資格を失い、優秀の1席から順次条件を満たす学校を推薦する。
 - ア 学習体系として縦（1・2・3年）の関係がはっきりしていること。
 - イ 学習体系として記録簿等でその該当生徒（1・2年）が学習していることが明確であること。（発表者及び発表補助者に2年生以下の生徒が含まれること）
 - ウ 地域大会より発表者および補助者として携わってきていること。
 - エ いかなる理由にせよ、途中より3年生から2・1年生への変更は認められない。

(8) 事前提出書類（地域大会出場時のみ提出してください。全道大会に出場する発表は地域大会当番校から全道大会当番校へ次の①～④が送付されます。）

審査のための資料として、エントリーシート、プロジェクト活動記録簿および発表原稿を下記要領でまとめて提出する。

①エントリーシート50部

- ア 様式は、令和2年度全国大会実施基準に準ずる。
- イ 紙媒体とPDFデータで提出する。

②活動記録簿1冊

- ア 活動記録簿、記録写真等、発表に直接関係ある資料を、A4判ファイル1冊に整理したもので、厚さは10cm程度とする。
- イ 表紙の様式は、令和2年度全国大会実施基準に準ずる。

③発表原稿50部

- ア 図表、写真等、発表に使用する内容を示すものを含めたもの。
- イ 用紙はA4判とし、横書き、片面印刷とする。
- ウ 表紙の様式は、令和2年度全国大会実施基準に準ずる。
※表紙に装飾や写真を使用しない。
- エ 紙媒体とPDFデータで提出する。

④動画（USB）1本

- ア (2) 動画撮影方法及び動画撮影要項に従い、撮影したものをUSBに保存する。
 イ あらかじめ、複数のパソコンで再生できるかを確認すること。
 ウ 各単位クラブデータを1つにまとめて提出してよい。
 エ USBは各単位クラブで発表動画をまとめて1本にする。

(9) 審査基準と配点 (70点満点)

項目	事前資料 (Profile)		発表 (Project Publication)	
審査	発表原稿と活動記録簿		発表内容 (Contents)	
配点	25点		45点	
審査項目	1	発表原稿は誤字脱字なく、書かれているか 5点	1	エントリーシートの内容を踏まえた構成であるか 10点
	2	活動記録簿は研究期間(Period)の記録であり、計画(Plan)にしたがった継続的な研究であるか 5点	2	授業での学習を踏まえ計画的に研究が進められているか 10点
	3	適切な研究方法(Do)で、正確な実践記録(Check)がなされているか 5点	3	持続的・安定的な地域環境や地域創造に配慮した内容となっているか 10点
	4	信頼性、再現性のあるデータとなっているか(Data) 5点	4	発表内容は精選され、成果は論理的・客観的に検討されているか 15点
	5	掲載されている資料は内容が精選され、適切な内容となっているか(Volume) 5点		

※ 発表方法 (Presentation) については動画での審査なので審査しない。

(10) ペナルティー

① 発表時間による減点

ア

超過時間	30秒まで	30秒超過～ 60秒まで	60秒超過～ 90秒まで	90秒超過～ 120秒まで	120秒を超過し、
減点数	2点	4点	6点	8点	10点

イ 時間計測は表現開始より、表現終了までとする。発表者の第一声、演示の開始のうち早いものを表現開始とし、「・・・・・・終わります。」の声で表現終了とする。

(平成23年2月15日付け農ク道連第30号申し合わせ事項参照)

2 クラブ活動発表（道連独自基準）

クラブ活動発表は次の要領で行い、各地域連において選出されたクラブ員が発表する。ただし、地域大会の内容を変更してはならない。

（1）課 題

単位学校農業クラブ活動を積極的に進展するために、単位クラブはどのように取り組み、クラブ員がどのように活動しているか

（2）動画撮影方法

- ① 次の（3）発表方法、（4）発表および準備時間、（5）発表者および発表補助者の要項に従い、動画を撮影すること。
- ② 撮影については発表準備が完了してから、『気をつけ。礼』より撮影を開始し、その後発表を終え、『気をつけ。礼』までの一連の流れを定点で継続して撮影すること。
- ③ 動画に新たな音声を入れるなどの編集はしないこと。
- ④ 詳しい撮影方法は別途指示を出す。

（3）発表方法

- ① 発表は視聴覚機器を使用した演台からの口頭発表とする。必要に応じ標本・模型などを使用した演示をしても良い。また、視聴覚機器、標本、模型には音声・動画が挿入されていても良い。ただし、音声・動画は補助としてのみ利用すべきである。発表はオリジナルなものを提供することが望ましい。
- ② 撮影に準備する視聴覚機器類・USBについては、各単位クラブで準備を行うこと。
- ③ 発表終了後の質疑応答は行わない。

（4）発表および準備時間

- ① 発表時間は10分以内として超過2分で発表打ち切りとする。
- ② 時間標示は8分（1鈴）、10分（2鈴）、12分（乱鈴）とする。
- ③ 計時および時間標示については撮影時にわかるようにすること。
- ④ 発表準備のための時間は特に設けなくて良い。

（5）発表者および発表補助者

- ① 発表者は、地域連盟で審査の結果、最優秀または優秀に選ばれた者（またはグループ）とする。
- ② 発表者および発表補助者数は合わせて10名以内とする。
- ③ 発表者は男女・学科を問わない。
- ④ 発表者は口頭発表を行う者とし、3名以内とする。発表補助者は視聴覚器具の操作、標本・模型の演示など、発表の補助を行う者とする。
- ⑤ 各発表とも、補助者は必ず自校にて準備すること。
- ⑥ 全道大会の発表者数は次の通りとする。

	北連盟	南連盟	東連盟	合計
クラブ活動発表	3	4	4	11

（6）審査および審査委員会

- ① 審査はプレイスナンバー方式で行い、最優秀、優秀を選出する。
- ② 審査員は、校長・教頭・指導教師・学校農業クラブに理解の深い学識経験者などから選出する。その構成は、道連運営細則3により次のとおりとする。

ア 外部審査員 2名

イ 内部審査員 5名

ただし、プロジェクト発表と兼ねることができるものとする。

- ③ 審査員会の構成は日本学校農業クラブ北海道連盟、北海道高等学校長協会農業部会、各地域連盟と協議のうえ当番学校が原案を作成し、代議員会で決定する。
- ④ 審査プレイスナンバーの公開については、審査長の確認を受けて、全発表分について行い、指導の一助とする。

(7) 表彰および全国大会推薦

- ① 入賞者に対して表彰を行う。入賞数を次のとおりとする。

	最優秀	優 秀	合 計
クラブ活動発表	1	3	4

- ② 最優秀校は翌年度の全国大会クラブ員代表者会議、ブロック代表事例発表校となる。なお、発表者の学年制限はない。

(8) 事前提出書類（地域大会出場時のみ提出してください。全道大会に出場する発表は地域大会当番校から全道当番校へ次の①～④が送付されます。）

審査のための資料として、活動記録簿および発表原稿をプロジェクト発表と同じ要領でまとめて提出する。

① 活動記録簿 1冊

活動記録簿、記録写真等、発表に直接関係のある資料を、A4判ファイル1冊に整理したもので、厚さは10cm程度とする。

② 発表原稿 50部

ア 図表、写真等、発表に使用する内容を示すものを含めたもの。

イ 用紙はA4とし、横書き、片面印刷とする。表紙の形式はプロジェクト発表に準ずる。

③ 提出期限

事前提出書類のデータについてはPDFデータに変換して提出ください。

④ 動画 (USB) 1本

ア (2) 動画撮影方法及び動画撮影要項に従い、撮影したものをUSBに保存する。

イ あらかじめ、複数のパソコンで再生できるかを確認すること。

ウ 各単位クラブデータを1つにまとめて提出してよい。

エ USBは各単位クラブで発表動画をまとめて1本にする。

(9) 審査基準と配点

項目	事前提出書類		発表の内容			
配点	20点		60点			
審査項目	1	組織的系統的に実践・活動が推進されているか	10点	1	課題解決に適切な企画（組織や計画）であるか	15点
				2	課題解決のために役員の活動はどうであったか	15点
	2	データの集積・分析が総合的な判断で行われているか	10点	3	課題解決のためにクラブ員の活動はどうであったか	15点
				4	成果の判断は論理的で、総合的に行われているか	15点

※ 発表のしかたについては動画での審査なので審査しない。

(10) ペナルティー

① 発表時間による減点

ア

超過時間	30秒まで	30秒超過～ 60秒まで	60秒超過～ 90秒まで	90秒超過～ 120秒まで	120秒を超過し、
減点数	2点	4点	6点	8点	10点

イ 時間計測は表現開始より、表現終了までとする。発表者の第一声、演示の開始のうち早いものを表現開始とし、「・・・・・・終わります。」の声で表現終了とする。

(平成23年2月15日付け農ク道連第30号申し合わせ事項参照)